

身体障害者診断書・意見書（視覚障害用）

総括表

氏 名	年 月 日生（ ）歳	男・女						
住 所								
① 障害名（部位を明記）								
② 原因となった 疾病・外傷名	交通 労災 その他の事故 戦傷 戦災 自然災害 疾病 先天性 その他（ ）							
③ 疾病・外傷発生年月日	年 月 日	場所						
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）								
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日								
⑤ 総合所見								
〔将来再認定 要・不要〕 (再認定の時期 年 月)								
⑥ その他参考となる合併症状								
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 年 月 日 病院又は診療所の名称 所 在 地 担当診療科名 科 医師氏名 ㊟								
身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕 等級表による個別等級 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する（ ）級相当） ・該当しない <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>等 級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視 力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>視 野</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			部 位	等 級	視 力		視 野	
部 位	等 級							
視 力								
視 野								
注 1 障害名には、現在起っている障害、例えば視力障害等を記入し、原因となった疾病には、糖尿病性網膜症等原因となった疾患名を記入してください。 2 「障害の状態及び所見を記載した書面」（別様式）を添付してください。 3 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて問い合わせる場合があります。								

1 視力

	裸眼視力	矯正能力				
右眼		×	D	(	c y l	D A x °
左眼		×	D	(	c y l	D A x °

* 指数弁の場合、距離（30cm 等）も記載 * 矯正不能の場合、その旨を記載

2 視野

ゴールドマン型視野計

(1) 周辺視野の評価（Ⅰ／4）

① 両眼の視野が中心 10 度以内

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右										度（≤80）
左										度（≤80）
② 両眼による視野が2分の1以上欠損（はい・いいえ）										

(2) 中心視野の評価（Ⅰ／2）

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右									①	度
左									②	度

(①と②のうち大きい方)

(①と②のうち小さい方)

両眼中心
視野角度
(Ⅰ／2)

(× 3 +) ÷ 4 = 度

または

自動視野計

(1) 周辺視野の評価

両眼開放エスターマンテスト

両眼開放視認点数

点

(2) 中心視野の評価 (10－2プログラム)

右	③		点	(≥ 26 dB)
左	④		点	(≥ 26 dB)

(③と④のうち大きい方)

(③と④のうち小さい方)

両眼中心
視野
視認点数

(× 3 +) ÷ 4 = 点

3 現症

	右	左
前眼部		
中間透光体		
眼底		

視覚障害の状況及び所見

視野 コ ピ ー 添 付	
(注) ゴールドマン型視野計を用いた視野図を添付する場合には、どのイソプタが I / 4 の視標によるものか、I / 2 の視標によるものか明確に区分できるように記載すること。	